

平成22年度 学校評価アンケートの分析

12月に実施しました「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。

学校では、生徒・保護者・教職員を対象に実施した7種類のアンケート結果を分析するとともに、この結果を基に学年会や職員会を通して、本校の教育活動の見直しをしてみました。また、去る2月18日(金)には「学校関係者評価委員会」を開催し、このアンケート結果を次年度の教育活動に生かす手だてを協議しました。アンケート結果からみた本校の現状や傾向は、次のとおりです。



< 生徒による学校教育活動の評価 > (アンケート結果... P 2 掲載)

充実した学校生活がうかがえる！

生徒との対話の充実と、授業力のさらなる向上を！

アンケートに、「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合は、全調査項目の平均で85%を越え、生徒の充実した学校生活ぶりがうかがえます。とりわけ「1番：学校は楽しい」「12番：北中生徒でよかった」などの項目が高評価となっており、本校の教育の成果が表れています。その一方、それぞれの項目に「いいえ」と答えた生徒の割合が平均で5パーセント近くに達していること、とりわけ「8番：教師との相談」で、「いいえ」の割合が8パーセントに達していることは、私たちの生徒との接し方を考えさせられる問題です。次年度は生徒の抱える問題を早期発見できるよう、日々の生徒との対話を心がけるとともに、教育相談日を増やします。また、「2番：授業は分かりやすい」の項目が低いのは、教育のプロとして反省すべき事柄であり、現在、授業についての学習会や教師間の授業を見合う会の回数を増やし、授業力の向上に努めています。

次に、アンケート結果を学年別や男女別に集計したり、前年度の同じ学年や同じ生徒の一年前の結果と比較したりすると、様々なことが分かってきます。例えば、全国的な傾向でもありますが、本校においても、学年としては2年生に、男女別では女子に問題が多く発生しています。確かに今年度の2年生は、1年時の4学級から3学級になるという大きな変化がありました。しかし、これだけが様々な問題の原因だとは思われません。2年生では、この結果を重く受け止め、学年会で対策を協議して改善に努めています。アンケート結果を学年ごとにまとめると下のようなことが言えます。

< 1年 >

心配された中学校生活への適応は、例年以上に順調に進んでおり充実した学校生活がうかがえます。昨年のアンケート結果を生かして、適応指導を充実させた成果が出ているようです。今後も、きめ細かな指導に心がけます。

< 2年 >

女子を中心に、精神的に不安定な生徒や人間関係がうまくいっていない生徒が多いようです。学級の数が多いということもありますが、生徒と教師の対話不足が感じられます。

相談活動を充実させるとともに、3年生に向けて、一人一人の目標をはっきりさせていきます。

< 3年 >

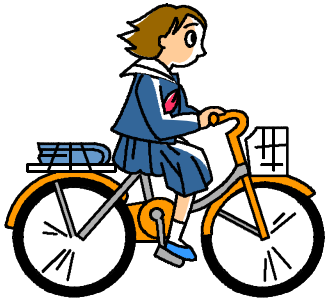
「北中生でよかった」等の項目は、2年時より上がっています。受験を控え、学習への関心が昨年度の3年生と同様に高くなっています。

アンケート後、進路決定に向けた相談活動や学習面でのアドバイスを充実させてきました。

< 生徒による生活習慣・学習習慣の自己評価 > (結果...P4・5)

「挨拶」や「将来の目標」は向上! 「ゲームやテレビの約束」は低下!

「予習・復習の習慣」や、「分からないところを質問する習慣」が向上!



生活面では、「3番：近所の人への挨拶」や「9番：将来の夢や目標」「8番：朝食を食べる」といった項目で、評価が上がってきており、生活習慣の改善がみられます。特に、昨年度全国調査と比べて低かった「将来の夢や目標がある」が上がってきたことは、将来への目標という観点からも喜ばしいことです。職場体験学習などの成果が出てきていると思われます。

しかし、その一方で、「11番：テレビやゲームについての約束」の項目は、「約束そのものがない」という場合が多く、全国調査の結果からみても改善が必要です。同様に、「2番：お手伝い」の項目は、改善されてはいますが、2・3年生で低いようです。また、携帯電話の所持率は、全国と比較して全体的に低くなっています。今後も、家庭や地域社会の一員として相応しい生活態度が身に付くよう指導していきます。「生活習慣」についての各学年の特徴は、以下のとおりです。

< 1年・生活 >

全体的に評価が高く、落ち着いた生活ぶりで、学校生活に対する自信がうかがえます。特に、「近所の人へのあいさつ」や「朝食を食べる」などの項目が高くなっています。

< 2年・生活 >

「将来の夢」や「生活習慣の確立」という項目は1年時より向上しました。一方、「安全への配慮」や「朝食を食べる」「テレビやゲームの約束」などの項目が下がっています。学校慣れが心配されますので、3年生に向けての目標を自覚させます。

< 3年・生活 >

「将来の夢」は、2年時より上がっています。一方、「安全への配慮」や「睡眠時間の確保」「テレビやゲームの約束」などの項目が下がっています。自己管理ができるよう、卒業後の目標を自覚させます。

学習面では、少しではありますが、学校全体で学習習慣がより良いものになってきています。特に、「1番：予習や復習の習慣」や「10番：分からないところを調べる」といった項目は、全学年で向上しています。特に、「分からないところを調べる」という項目は、昨年度、全国の調査より劣っていただけに、1年間の指導の効果が出たものと思われます。また、同じ3年生を比べた調査では、「12番：読書時間」も全国調査の結果を大きく上回っています。一方、「13番：基礎学力の定着」の項目は、学力的に高い学年ほど高くなる傾向がみられます。

「学習習慣」の確立なくして学力の向上はありません。1年生が全体的により結果を出していますが、オリエンテーション合宿で、学習の仕方を指導した成果が出ているように思われます。「学習習慣」についての各学年の特徴は、以下のとおりです。

< 1年・学習 >

全体的に学習習慣がよく身に付いており、「用具を揃える」「質問する」などの心構えの評価が高くなっています。

< 2年・学習 >

「基礎学力の定着」「予習・復習の習慣」という項目は、1年時より向上しました。反面「授業態度」や「学校の勉強が役立つ」などは低下しています。進路決定に向けた学習会を再度実施します。

< 3年・学習 >

「予習・復習の習慣」や「学習時間」という項目は、2年時より大きく向上しています。受験生らしさが感じられます。

< 保護者による学校教育活動の評価、(結果... P 7・8)

保護者による生徒の実態評価 >

「情報の素早い伝達」や、「基礎学力の向上」への強い要望！
親子の認識の違いと、子どもを見つめる温かい眼差し！



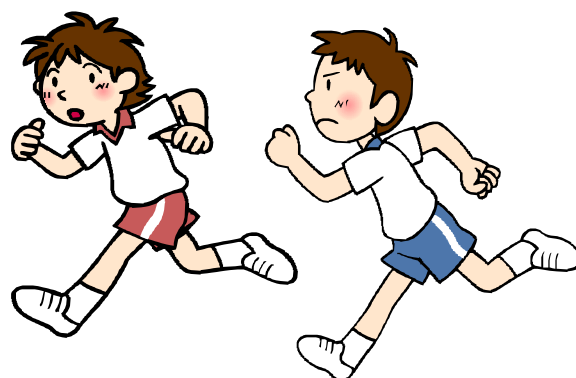
学校教育活動については、「11番：パソコンや携帯等の今日的な課題への対応」や「13番：部活指導」などで高い評価を得ています。その一方で、「3番：連絡指導の充実」「7番：基礎学力の充実」の項目は、より一層の改善を進める必要があると思われます。学校では、学年会や職員会で、具体的な対策を検討し、「進路指導の充実」については、1年時からの系統的な指導を重視するとともに、2年生を対象に進路学習会を持つなどの改善策を次年度の予定に盛り込みました。また、「基礎学力の充実」については、生徒の自己評価は上がっていますが、保護者の皆様の要望としては、当然のものです。生徒アンケートでもお伝えしたとおり、学年会や教職員の学習会を通じて、指導力の改善を図っています。

次に、「3番：保護者への連絡」の項目は学年間の差が大きく、「9番：いじめ」や「10番：豊かな心」の項目は、お子さんが男子か女子かで差が大きくなっています。この事実を受け、学年での対応を進めています。

一方、生徒の生活についての評価では、「1番：交通安全」「2番：防犯」といった項目で、親子の評価の違いが大きくなっています。(生徒の自己評価が高く、保護者の評価が低い。)大人から見れば危険だと思えることも、生徒は危ないと思っていないという事実は、生徒の安全管理上、大変危険なことです。今後は、生徒の安全への認識はどうしても甘くなるという前提に立って、粘り強く指導にあたりたいと考えています。

また、2年生になると、学校のことを保護者に伝えなくなるという傾向もはっきりしましたので、今後の指導に生かしていきたいと考えています。さらに、保護者の皆様の評価と生徒の自己評価は一致する傾向があります。学年別、男女別に比較すると、学年別、男女別に見て、保護者の皆様の評価の高い項目は、生徒の自己評価も高くなっています。

最後になりましたが、「生徒の成長を感じる時」については、130名を越える保護者の方が具体的に例を上げて記述していただきました。保護者の皆様の温かい眼差しに感服しました。子どもは、「良い点を指摘されることで、自分のよさを認識してさらに伸びる」と言われています。是非、機会をみて、お子さんにお話してください。



< 学校に関する具体的な意見や要望 >

P T A 幹事の皆様や学校評議員・評価委員の方々から、貴重なご意見をいただきました。校内で検討し、次年度の行事予定に盛り込みました。主なご意見と、それに対する対応策は、以下のとおりです。

< 経営方針について >

保護者に教育計画書を示す発想がよい。内容は、保護者にも分かりやすいものにしてほしい。

教育計画書の形式を工夫します。

< 生活指導・カウンセリングについて >

- ・暑さ対策として衣替えを見直して欲しい。
- ・いじめや問題行動の把握を素早くしてほしい。

- * 衣替えの移行期間を延長します。
- * 教育相談の回数を増やすとともに、アンケートと組み合わせるなど、その実施方法を改善します。

< 部活動について >

- ・練習時間と課題の量を検討してほしい。
- ・部活動の種類を増やしてほしい。

部活動の活動時間は、生徒の生活全般を考え決定していきます。また、部活動を選ぶ期間も延長します。しかし、部活動の種類を増やすことは、施設や指導者の制約があるので時間をかけて検討したいと思います。

< 学習指導・進路指導について >

- ・進路についての情報が、もう少し早い段階からほしい。
- ・進路について担任の先生とじっくりと話す時間がほしい。

- * 進路学習会の時期を早めるとともに、2年生を対象にした学習会を計画しています。
- * 3年生が1学級40人になるので、保護者会の日数を増やします。

< 安全の確保・情報発信等について >

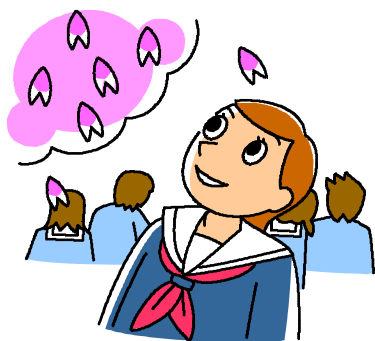
- ・下校時に暗くなることがある。
- ・ホームページは充実してきた。さらに利用しやすいものにしてほしい。

- * 最終下校時刻の見直しをしました。
- * ホームページの掲示方法（下校時刻等の掲示を大きくするなど）を見直すとともに、緊急メールの活用方法を工夫します。

< 学校行事等について >

家庭訪問や陸上大会などの実施時期を工夫してほしい。

家庭訪問を4月後半に遅らせます。また、陸上大会や授業公開日などの開催日を見直し、より成果の上がるものにしていきます。



北部中学校では、これらの分析にもとづき、対策の具体化を進めています。今後とも、北部中学校へのご支援とご協力をお願いいたします。

なお、アンケート結果は、北部中のホームページにも掲載しています。